

学生の皆さんへ

新型コロナウイルス感染症については、報道等でご承知のとおり、東京都をはじめとする首都圏や関西圏などで感染者数が大幅に増加し、無症状や軽症の若年層を中心とした市中感染の拡がりが懸念されています。また、地方においても感染者が徐々に確認されつつある中、昨日（7月20日）、県内で53日ぶりに新型コロナウイルス感染者（関西圏から帰省した20代男性）が確認されたとの発表がありました。

これを受けて、愛媛県知事から「夏季休暇などを利用した学生等の帰省や旅行時における感染拡大地域での同窓会の出席や対策が不十分な飲食店などへの立ち入り」について注意喚起するよう、県内の大学等に対し、協力依頼があったところです。

本学では、7月1日付けで、感染拡大地域からのウイルスの持ち込み、持ち帰りをしないために気を付けていただきたいことを皆さんにお知らせしておりますが、あらためて、夏休み期間中などに県外に移動する場合の注意事項について周知しますので、各々が本学の学生たる自覚をもって行動してください。

- 東京都をはじめとする首都圏など感染拡大地域への旅行、帰省、就職試験等は、地域の感染状況を十分確認した上で、その移動の必要性をいま一度精査し、家族等とも相談して慎重に判断するようお願いします。
- やむを得ず移動する場合は、滞在先での3密回避を徹底することはもちろん、十分な感染防止対策がなされていない飲食店、カラオケ、劇場等のほか、夜の繁華街などには決して立ち寄らないよう気を付けること。また、多数が参集する同窓会の参加には細心の注意を払うこと。
- 帰県後は、2週間程度は健康管理期間として人ごみを避けるとともに体調管理に留意すること。少しでも体調に異常を感じた場合は、ためらわず帰国者・接触者相談センターに連絡するほか、大学にも報告し、迅速かつ冷静な対応を心がけること。
- なお、県内に滞在する場合においても、夏休みやお盆の期間中、感染拡大地域を含む県外から帰省した友人を多数招いての同窓会やカラオケなどの集まりは、慎重に感染リスクを判断すること。

令和2年7月21日

愛媛県立医療技術大学 学長 安川 正貴